

おひさんあめさん

ほこりの ついた しばくさを
あめさんあらって くれました。

あらって ぬれた しばくさを
おひさん ほして くれました。

こうして わたしが ねころんで
そらを みるのに よいように。



一般社団法人

ことばサポートネット

くさのな

ひとの しってる くさのなは
わたしは ちっとも しらないの。

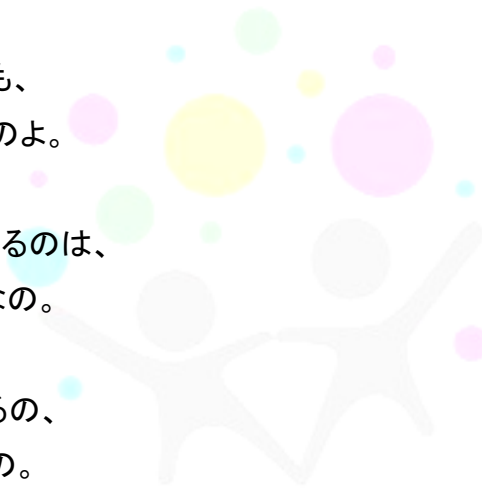
ひとの しらない くさのなを、
わたしは いくつもしってるの。

それは わたしが つけたのよ、
すきな くさには すきな なを。

ひとの しってる くさのなも、
どうせ だれかが つけたのよ。

ほんとの なまえを しってるのは、
そらの おひさま ばかりなの。

だから わたしは よんでるの、
わたしばかりで よんでるの。



一般社団法人
ことばサポートネット

四がつ

あたらしい ごほん、
あたらしい かばんに。

あたらしい はっぱ、
あたらしい えだに。

あたらしい おひさま、
あたらしい そらに。

あたらしい 四がつ、
うれしい 四がつ。



一般社団法人

ことばサポートネット

けがした ゆび

しろい ほうたい していたら、
みても いどうて、 なきました。

あねさまの おび かりて、
あかい かのこで むすんだら
ゆびは かわいい おにんぎょう。

つめに おかおを かいてたら、
いつか、いたいの わすれてた。



一般社団法人

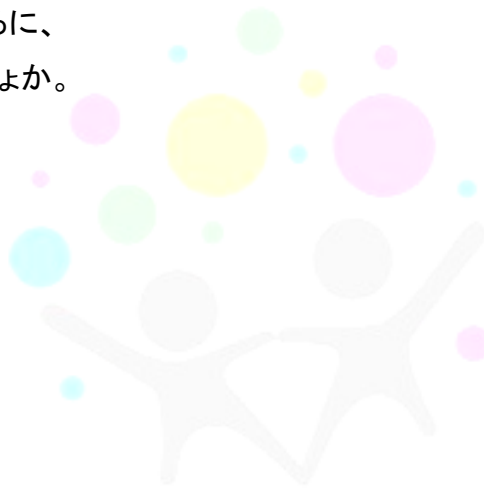
ことばサポートネット

せみの おべべ

かあさま、
うらの きの かげに、
せみの おべべが ありました。

せみも あつくて めいだのよ、
ぬいで、 わすれて いったのよ。

ばんに なったら さむかろに、
どこへ とどけて やりましょか。



一般社団法人

ことばサポートネット

はだし

つちが くろくて、ぬれていて、
はだしのあしが きれいだな。

なまえも しらぬ ねえさんが、
はなおは すげてくれたけど。



一般社団法人

ことばサポートネット

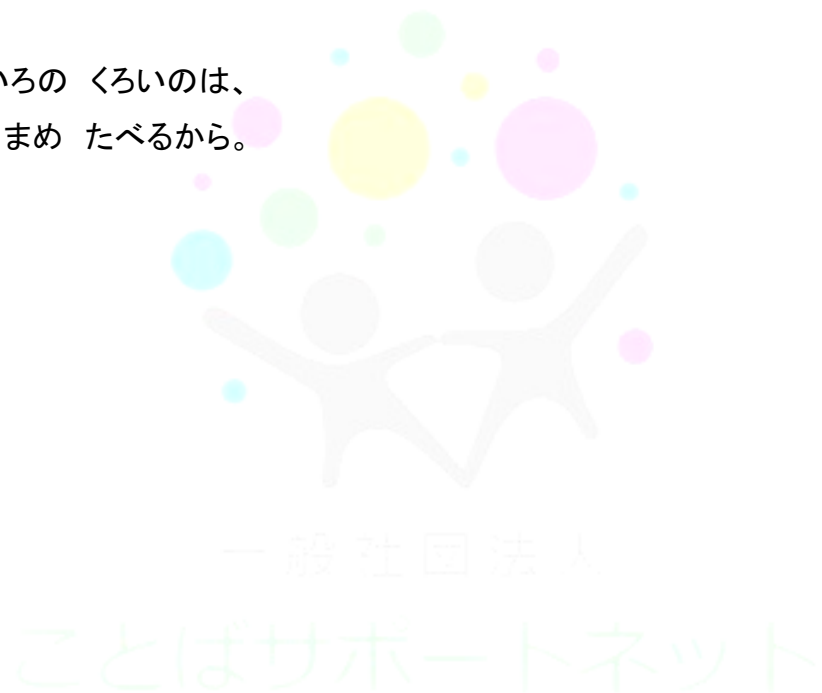
わたしの かみの

わたしの かみの ひかるのは
いつも かあさま、なでるから。

わたしの おはなの ひくいのは、
いつも わたしが ならすから。

わたしの エプロンの しろいのは、
いつも かあさま、あらうから。

わたしの おいろの くろいのは、
わたしが いりまめ たべるから。



くも

わたしは くもに なりたいな。

ふわりふわりと あおぞらの
はてからはてを みんなみて、
よるは おつきさんと おにごっこ。

それも あきたら あめになり
かみなりさんを ともにつれ、
うちの いけへ とびおりる。



一般社団法人

ことばサポートネット

うらない

ゆうやけ、こやけ、
あかい ぞんぞ とばそ。

あかい ぞんぞ うらだ、
もいちど とばそ。

おもて でるまで、
なんべんでも とばそ。

ゆうやけ、こやけ、
くもまで とばそ

(※ぞんぞ は ぞうり のことです。)



一般社団法人

ことばサポートネット

しろいぼうし

しろい ぼうし、あったかい ぼうし、 おいしい ぼうし。

でも、もう いいの、 なくしたものは、 なくしたものよ。

けれど、ぼうしよ、おねがいだから、
みぞや なんぞに おちないで、
どこぞの、たかい きの えだに、
ちよいと しなよく かかってね、
わたしみたいに、ぶきつちよで、
よう すを かけぬ かわいそな とりの、
あったかい、 いい すに なっておやり。

しろい ぼうし、
けいとの ぼうし。

(※よう すを かけぬ … じょうずに すをかけられない)

一般社団法人
ことばサポートネット

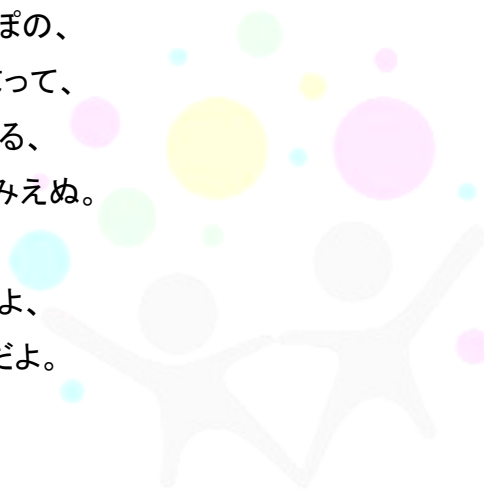
ほしと たんぽぽ

あおい おそらの そこ ふかく、
うみの こいしの そのように、
よるが くるまで しずんでる、
ひるの おほしは めに みえぬ。

みえぬけれども あるんだよ、
みえぬ ものでも あるんだよ。

ちって すがれた たんぽぽの、
かわらの すきに、 だアまって、
はるの くるまで かくれてる、
つよい そのねは めに みえぬ。

みえぬけれども あるんだよ、
みえぬ ものでも あるんだよ。



一般社団法人

ことばサポートネット